

年

組 名前

2020年9月5日付

## 和菓子店 感謝の再出発



### 尾鷲の店主夫婦感染45日ぶり

新型コロナウイルスに感染し、回復した三重県尾鷲市中井町の村田晋さん(五七)と由美さん(五五)夫婦が四日、自宅で営む和菓子店

### 不安・中傷 常連の励まし支え

「多くの人に感謝したい」と笑った。

「再開できて、よかったね」。常連客のねぎらいの声に村田さん夫婦は「ありがとう」と繰り返した。

一九三〇(昭和五)年創業で、晋さんは三代目。熊野古道に近い旧街道に店を構え、昔ながらの菓子を晋さんが手作りし、由美さんが接客する。

由美さんの感染が分かった日から店は休業。その日の検査で晋さんから家族四人は陰性だったが、五日後に晋さんが発熱。再検査で陽性と判定された。

晋さんは四〇度近い高熱と呼吸難に、死を覚悟することもあったという。二十日間にわたって入院し「出口のない真っ暗なトンネル

で、さまよっているようだった」。

心の支えはスマートフォン。「頑張れよ」と友人やお客さんからメールが届き、電話がかかってきた。

「菓子を食べてうつるんじゃないか」「コロナにかかったらどうするんだ」。由美さんの感染直後は、店にそんな匿名の電話も相次いだ。晋さんは「気にしても仕方がない」と前を向いた。

由美さんは重症化はせずに回復。晋さんは八月十七日に退院し、保健所から店の再開を許可された。今月一日に店内を消毒し、大安心のこの日に再開。晋さんは「多くの方の支えがあって再開できた。自分の経験を生かし、新型コロナに感染して困った人がいれば力になりたい」と話した。

営業再開を喜ぶ村田晋さん(五七)4日午後、三重県尾鷲市の朝日饅頭本舗で

(間宮大貴)

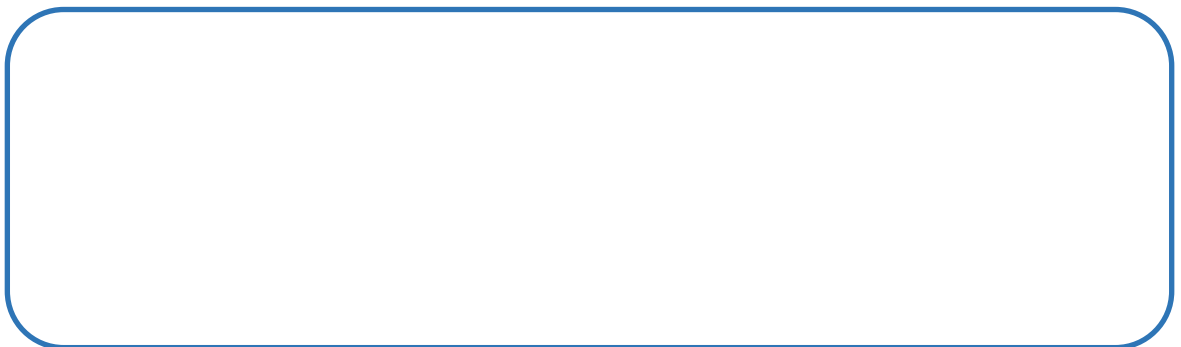
問1：村田さんが、つらかったことは、どんなことだったでしょう。



問2：村田さんを励ました人は、どんな思いだったでしょうか。



問3：「多くの人に感謝したい」と思うようになったのは、なぜでしょう。



問4：家族・友達の発表を聞いて、どんなことを考えたのか書きましょう。

